

介護老人保健施設桜の里入所利用約款

(約款の目的)

第1条 医療法人 中山会 介護老人保健施設 桜の里（以下「当施設」という。）は、要介護状態と認定された利用者（以下単に「利用者」という。）に対し、介護保険法令の趣旨に従って、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにするとともに、利用者の居宅における生活への復帰を目指した介護保健施設サービスを提供し、一方、利用者及び利用者を扶養する者（以下「扶養者」という。）は、当施設に対し、そのサービスに対する料金を支払うことについて取り決めることを、本約款の目的とします。

(適用期間)

第2条 本約款は、利用者が介護老人保健施設入所利用同意書を当施設に提出したのち、平成30年4月1日以降から効力を有します。但し、扶養者に変更があった場合は、新たに同意を得ることとします。

2 利用者は、前項に定める事項の他、本約款、別紙1及び別紙2の改定が行なわれない限り、初回利用時の同意書提出をもって、繰り返し当施設を利用することができるものとします。

(利用者からの解除)

第3条 利用者及び扶養者は、当施設に対し、退所の意思表示をすることにより、本約款に基づく入所利用を解除・終了することができます。

(当施設からの解除)

第4条 当施設は、利用者及び扶養者に対し、次に掲げる場合には、本約款に基づく入所利用を解除・終了することができます。

- ① 利用者が要介護認定において自立又は要支援と認定された場合
- ② 当施設において定期的に実施される入所継続検討会議において、退所して居宅において生活ができると判断された場合
- ③ 利用者の病状、心身状態等が著しく悪化し、当施設での適切な介護保健施設サービスの提供を超えると判断された場合
- ④ 利用者及び扶養者が、本約款に定める利用料金を1ヶ月分以上滞納し、その支払を督促したにもかかわらず14日間以内に支払われない場合
- ⑤ 利用者が、当施設、当施設の職員又は他の入所者等に対して、利用継続が困難となる程度の背信行為又は反社会的行為を行った場合
- ⑥ 天災、災害、施設・設備の故障その他やむを得ない理由により、当施設を利用させることができない場合

(利用料金)

第5条 利用者及び扶養者は、連帯して、当施設に対し、本約款に基づく介護保健施設サービスの対価として、別紙2の利用単位ごとの料金をもとに計算された月ごとの合計額及び利用者が個別に利用したサービスの提供に伴い必要となる額の合計額を支払う義務があります。

2 当施設は、利用者及び扶養者が指定する送付先に対し、前月料金の合計額の請求書及び明細書を、毎月20日頃に送付し、利用者及び扶養者は、連帯して、当施設に対し、当該合計額をその月の末日までに支払うものとします。なお、支払いの方法は別途話し合いの上、双方合意した方法によります。

- 3 当施設は、利用者又は扶養者から、1項に定める利用料金の支払いを受けたときは、利用者及び扶養者が指定する送付先に対して、領収書を送付します。

(記録)

第6条 当施設は、利用者の介護保健施設サービスの提供に関する記録を作成し、その記録を利用終了後5年間は保管します。

- 2 当施設は、利用者が前項の記録の閲覧、謄写を求めた場合には、原則として、これに応じます。但し、扶養者その他の者(利用者の代理人を含みます。)に対しては、利用者の承諾その他必要と認められる場合に限り、これに応じます。

(身体の拘束等)

第7条 当施設は、原則として利用者に対し身体拘束を行いません。但し、自傷他害の恐れがある等緊急やむを得ない場合は、施設管理者又は施設長が判断し、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行うことがあります。この場合には、当施設の医師がその様態及び時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得なかった理由を診療録に記載することとします。

(秘密の保持及び個人情報の保護)

第8条 当施設とその職員は、業務上知り得た利用者又は扶養者若しくはその家族等に関する秘密を、正当な理由なく第三者に漏らしません。但し、次の各号についての情報提供については、当施設は、利用者及び扶養者から、予め同意を得た上で行うこととします。

- ① 介護保険サービスの利用のための市町村、居宅介護支援事業者その他の介護保険事業者等への情報提供、あるいは、適切な在宅療養のための医療機関等への療養情報の提供。
- ② 介護保険サービスの質の向上のための学会、研究会等での事例研究発表等。なお、この場合、利用者個人を特定できないように仮名等を使用することを厳守します。

- 2 前項に掲げる事項は、利用終了後も同様の取扱いとします。

(緊急時の対応)

第9条 当施設は、利用者に対し、施設医師の医学的判断により対診が必要と認める場合、協力医療機関又は協力歯科医療機関での診療を依頼することがあります。

- 2 当施設は、利用者に対し、当施設における介護保健施設サービスでの対応が困難な状態、又は、専門的な医学的対応が必要と判断した場合、他の専門的機関を紹介します。
- 3 前2項のほか、入所利用中に利用者の心身の状態が急変した場合、当施設は、施設医師並びに担当医師の医学的判断により、緊急対応可能な医療機関に緊急転院させることがあります。なお、利用者及びその家族の希望される医療機関への転院が、緊急性を考慮して、ご希望に添えないことがありますことをご承知下さい。利用者及び扶養者が指定する者に対し、緊急に連絡します。

(事故発生時の対応)

第10条 施設は、利用者に対する介護保健施設サービスの提供により事故が発生した場合は、速やかに市町村、利用者の家族等、利用者に係る居宅介護支援事業者等に連絡を行うとともに、必要な処置を講じます。

(外出・外泊に関する事項)

第11条 当施設は居宅における生活復帰を目指しています。ご利用者の状態に応じ外出・外泊のご協力をお願いします。

(要望又は苦情等の申出)

第 12 条 利用者及び扶養者は、当施設の提供する介護保健施設サービスに対しての要望又は苦情等について、担当支援相談員に申し出ることができ、又は、備付けの用紙、管理者宛ての文書で所定の場所に設置する「ご意見箱」に投函して申し出ることができます。

(賠償責任)

第 13 条 介護保健施設サービスの提供に伴って当施設の責に帰すべき事由によって、利用者が損害を被った場合、当施設は、利用者に対して、損害を賠償するものとします。

2 利用者の責に帰すべき事由によって、当施設が損害を被った場合、利用者及び扶養者は、連帯して、当施設に対して、その損害を賠償するものとします。

(利用契約に定めのない事項)

第 14 条 この約款に定められていない事項は、介護保険法令その他諸法令に定めるところにより、利用者又は扶養者と当施設が誠意をもって協議して定めることとします。

介護老人保健施設 桜の里のご案内

1. 施設の概要

(1) 施設の名称等

- ・施設名 介護老人保健施設 桜の里
- ・開設年月日 平成6年6月1日
- ・所在地 熊本県合志市須屋702
- ・電話番号 096-343-8377 ・fax番号 096-346-0371
- ・管理者名 信岡 幸彦
- ・介護保険指定番号 介護老人保健施設(4352680021号)

(2) 介護老人保健施設の目的と運営方針

介護老人保健施設は、看護、医学的管理の下での介護や機能訓練、その他必要な医療と日常生活上のお世話などの介護保健施設サービスを提供することで、入所者の能力に応じた日常生活を営むことができるようにし、1日でも早く家庭での生活に戻ることができるように支援することを目的とした施設です。さらに、家庭復帰の場合には、療養環境の調整などの退所時の支援も行いますので、安心して退所いただけます。

この目的に沿って、当施設では、以下のような運営の方針を定めていますので、ご理解いただいた上でご利用ください。

[介護老人保健施設 桜の里の運営方針]

- ① 要介護高齢者等のニーズに対応した医療サービス及び日常生活サービスが総合的かつ一体的に提供できるよう努める。
- ② 明るく家庭的な雰囲気を保ち、要介護高齢者等の生活の質を高めて療養生活を送ることができるよう努める。
- ③ 要介護高齢者等の必要とするサービスの提供により、日常生活能力を可能な限り維持・回復し、心身の自立を支援し家庭復帰の実現に努める。
- ④ 家庭や地域との結びつきを重視するとともに、関連する医療・保健・福祉機関との連携の充実をはかり、在宅ケア支援体制の確立に努める。
- ⑤ 職員は社会的責任を自覚し、常に知識と技術の習得に努め、倫理的価値観にたって行動するよう努める。

(3) 施設の職員体制(令和7年4月1日現在)

	常勤	常勤兼務	非常勤	夜間
・ 医師		3名		1名
・ 薬剤師			1名	
・ 看護職員	10名		2名	1名
・ 介護職員 (内介護福祉士)	18名 (10名)		4名 (2名)	3名
・ 支援相談員	3名			
・ 理学・作業療法士	1名		1名	
・ 管理栄養士	2名			
・ 介護支援専門員	1名			
・ 事務職員	6名			

(4) 入所定員等 ・定員 75名 (うち認知症専門棟 36名)
・療養室 個室7室 ・ 4人室17室

(5) 通所リハビリテーション定員 ・40名 (1ユニット)

2. サービス内容

- ① 施設サービス計画の立案
- ② 短期入所療養介護計画の立案
- ③ 通所リハビリテーション計画の立案
- ④ 食事：食事は原則として食堂でおとりいただきます
朝食 8時30分から
昼食 12時00分から
夕食 18時00分から
- ⑤ 入浴：一般浴槽のほか介助を要する利用者には特別浴槽で対応します。入所利用者は、週に2回ご利用いただきます。ただし、利用者の身体の状態に応じて清拭となる場合があります。
- ⑥ 医学的管理・看護・介護（退所時の支援も行います）
- ⑦ リハビリテーション（機能訓練）
- ⑧ 相談援助サービス
- ⑨ 栄養管理・栄養ケア・マネジメント等の栄養状態の管理
- ⑩ 理美容：月2回 委託
- ⑪ 行政手続代行
- ⑫ その他：これらのサービスのなかには、ご利用者の方から基本料金とは別に利用料金をいただくものもありますので、具体的にご相談ください。

3. 協力医療機関等

当施設では、下記の医療機関・歯科医療機関に協力いただいています。

・協力医療機関

・

- ・名称 財団法人 江南病院
- ・住所 熊本市渡鹿5丁目1-37

- ・名称 医療法人 朝日野会 朝日野総合病院
- ・住所 熊本市室園町12-10

・協力歯科医療機関

- ・名称 ちぢいわ歯科クリニック
- ・住所 熊本県合志市須屋3673

- ・名称 今村歯科医院
- ・住所 熊本県合志市須屋709-4

◇他機関・施設との連携

協力医療機関への受診：

当施設では、病院・診療所や歯科診療所に協力をいただいておりますので、利用者の状態が急変した場合には、速やかに対応をお願いするようにしています。

他施設の紹介：

当施設での対応が困難な状態になったり、専門的な対応が必要になった場合には、責任を持って他の機関を紹介しますので、ご安心ください。

◇緊急時の連絡先

緊急の場合には、「同意書」にご記入いただいた連絡先に連絡します。

4. 施設利用に当たっての留意事項

・施設利用中の食事は、特別の事情がない限り施設の提供する食事をお召し上がりいただきます。食事は保険給付外の利用料と位置づけられていますが、同時に、施設は利用者の心身の状態に影響を与える栄養状態の管理をサービス内容としているために、その実施には食事内容の管理が欠かせませんので、食事の持ち込みはご遠慮いただきます。

- ・面会
- ・外出・外泊
- ・飲酒・喫煙
- ・火気の取扱い
- ・設備・備品の利用
- ・所持品・備品等の持ち込み
- ・金銭・貴重品の管理
- ・外泊時等の施設外での受診
- ・宗教活動
- ・ペットの持ち込み

5. 非常災害対策

- ・防災設備 スプリンクラー、消火器、消火栓、屋外非常階段、救助袋
- ・防災訓練 年2回 (内1回は夜間想定訓練)

6. 禁止事項

当施設では、多くの方に安心して療養生活を送っていただくために、利用者の「営利行為、宗教の勧誘、特定の政治活動」は禁止します。

7. 要望及び苦情等の相談

当施設には支援相談の専門員として、支援相談員が勤務しておりますので、お気軽にご相談ください。 (電話096-343-8377)

また、要望や苦情なども、支援相談担当者にお寄せいただければ、速やかに対応いたしますが、1階エレベーター前の掲示板の場所に備えています「ご意見箱」をご利用いただき、管理者に直接お申し出頂くこともできます。

8. その他

当施設についての詳細は、パンフレットを用意しておりますので、ご請求ください。

介護保健施設サービスについて

◇介護保険証の確認

説明を行うに当たり、ご利用希望者の介護保険証・介護保険負担割合証を確認させていただきます。

◇ケアサービス

当施設でのサービスは、どのような介護サービスを提供すれば家庭に帰っていただける状態になるかという施設サービス計画に基づいて提供されます。この計画は、利用者に関わるあらゆる職種の職員の協議によって作成されますが、その際、ご本人・扶養者の希望を十分に取り入れ、また、計画の内容については同意をいただくようになります。

医療：

介護老人保健施設は入院の必要のない程度の要介護者を対象としていますが、医師・看護職員が常勤していますので、ご利用者の状態に照らして適切な医療・看護を行います。

介護：

施設サービス計画に基づいて実施します。

機能訓練：

原則として機能訓練室にて行いますが、施設内でのすべての活動が機能訓練のためのリハビリテーション効果を期待したものです。

◇生活サービス

当施設入所中も明るく家庭的な雰囲気のもとで生活していただけるよう、常に利用者の立場に立って運営しています。

2. サービス内容

- ① 施設サービス計画の立案
- ② 食事（適時・適温）
- ③ 入浴（一般浴槽のほか入浴に介助を要する利用者には特別浴槽で対応）
- ④ 医学的管理・看護
- ⑤ 介護（退所時の支援も行います）
- ⑥ 機能訓練（リハビリテーション、レクリエーション）
- ⑦ 相談援助サービス
- ⑧ 理美容サービス（委託・専門業者によるサービス）
- ⑨ 洗濯サービス（委託業者斡旋等）
- ⑩ 行政手続代行等
- ⑪ その他

* これらのサービスのなかには、利用者の方から基本料金とは別に利用料金をいただくものもありますので、具体的にご相談ください。

3. 利用料金

（1）基本料金

- ① 施設利用料（介護保険制度では、要介護認定による要介護度によって利用料が異なり、介護保険負担割合証に記載されている割合にて自己負担も異なります。）

・多床室利用の場合

(基本型)

・要介護1	7,930円/日
・要介護2	8,430円/日
・要介護3	9,080円/日
・要介護4	9,610円/日
・要介護5	10,120円/日

・従来型個室の利用の場合

(基本型)

・要介護1	7,170円/日
・要介護2	7,630円/日
・要介護3	8,280円/日
・要介護4	8,830円/日
・要介護5	9,320円/日

(2) 加算料金

- ① 介護保険負担割合証に記載されている割合にて自己負担も異なります。
詳細は利用料金一覧表の備考欄をご参照ください。

- * 短期集中リハビリテーション実施加算 (I) 2,580円/日
- * 短期集中リハビリテーション実施加算 (II) 2,000円/日
- * 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 (I) 2,400円/日
- * 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 (II) 1,200円/日
- * 認知症ケア加算 760円/日
- * 夜勤体制加算 240円/日
- * サービス提供体制強化加算 (I) 220円/日
- * 療養食加算 60円/回
- * 経口移行加算 280円/回
- * 経口維持加算 (I) 4,000円/月
- * 初期加算 (I) 600円/日
- * 初期加算 (II) 300円/日
- * 若年性認知症入所者受入加算 1,200円/日
- * 外泊時費用 3,620円/日
- * 外泊時費用 (在宅サービス利用時) 8,000円/日
- * 入所前後訪問指導加算 (I) 4,500円/回
- * 試行的退所時指導加算 4,000円
- * 退所時情報提供加算 (I) 5,000円
- * 退所時情報提供加算 (II) 2,500円
- * 入退所前連携加算 (I) 6,000円
- * 入退所前連携加算 (II) 4,000円
- * 訪問看護指示加算 3,000円

- * 緊急時施設療養費（緊急時治療管理） 5,180円
- * 所定疾患施設療養費（Ⅰ） 2,390円/日
- * 所定疾患施設療養費（Ⅱ） 4,800円/日
- * ターミナルケア加算（死亡日以前31日以上45日以下） 720円/日
- * ターミナルケア加算（死亡日以前4日以上30日以下） 1,600円/日
- * ターミナルケア加算（死亡日前日及び前々日） 9,100円/日
- * ターミナルケア加算（死亡日） 19,000円/日
- * 在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ） 510円/日
- * 口腔衛生管理加算（Ⅰ） 900円/月
- * 口腔衛生管理加算（Ⅱ） 1,100円/月

※口腔衛生管理加算を算定する場合は、別途医療保険の費用が発生いたします。

- * 認知症行動・心理症状緊急対応加算 2,000円/日
- * かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅰ）イ 1,400円/1回
- * かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅰ）ロ 700円/1回
- * 科学的介護推進体制加算（Ⅰ） 400円/月
- * 科学的介護推進体制加算（Ⅱ） 600円/月
- * 自立支援促進加算 3,000円/月
- * 安全対策体制加算 200円/1回のみ
- * リハビリテーションマネジメント計画書情報加算（Ⅰ） 530円/月
- * リハビリテーションマネジメント計画書情報加算（Ⅱ） 330円/月
- * 介護職員等処遇改善加算（Ⅱ）（基本料金＋算定した加算料金の合計）×1000分の71
- * 再入所時栄養連携加算 2,000円
- * 栄養マネジメント強化加算 110円/日
- * 退所時栄養情報連携加算 700円/日
- * 協力医療機関連携加算（Ⅰ） 1,000円/月
- * 協力医療機関連携加算（Ⅱ） 50円/月
- * 認知症チームケア推進加算（Ⅰ） 1,500円/月
- * 認知症チームケア推進加算（Ⅱ） 1,200円/月
- * 高齢者施設等感染対策向上加算（Ⅰ） 100円/日
- * 高齢者施設等感染対策向上加算（Ⅱ） 50円/日
- * 新興感染症等施設療養費 2,400円/日
- * 生産性向上推進体制加算（Ⅰ） 1,000円/月
- * 生産性向上推進体制加算（Ⅱ） 100円/月

(2) その他の料金

- ① 食事費は自己負担になります。1日あたり1,920円
(ただし、食事について負担限度額認定を受けている場合には、認定書に記載されている食事の負担限度額が1日にお支払いいただく食事の上限となります。)
- ② 居住費(療養多床室1日あたりの利用費)は(2段階から3段階の方)430円
(4段階の方)437円
(従来型個室1日あたりの利用費)は(1段階から2段階の方)550円
(3段階の方)1,370円、(4段階の方)1,728円
(ただし、居住費について負担限度額認定を受けている場合には、認定書に記載されている居住費の負担限度額が1日にお支払いいただく居住費の上限となります。)
- ③ 日常生活品費、教養娯楽費 1日あたり 350円
(内訳 おしぼり20円 タオル50円 バスタオル100円 歯ブラシ10円
歯磨き粉10円 石鹸10円 シャンプー20円 ボディーシャンプー 20円
乳液・化粧水・ヘアークリーム等50円 ティッシュ30円 レク用折り紙・風船・輪投げ・
ビデオソフト代等30円)
*但し、利用者をご希望される物品に関するものだけ請求させていただきます。
- ④ 特別室(個室)利用料 (利用希望者のみ但し、認知症専門棟は除きます)
1日あたり 1,650円(税込)
- ⑤ 理美容代(業者委託) 実費 (別途資料をご覧ください。)
- ⑥ その他 電気代は1日あたりテレビ55円(税込)、電気アンカ11円(税込)
- ⑦ 健康管理費 実費(インフルエンザ予防接種等に係る料金)
- ⑧ 訓練材料費 実費(手芸等の材料を個人で購入希望される方のみ)

(3) 支払い方法

- ・毎月20日頃に、前月分の請求書を発行しますので、その月の末日までにお支払いください。お支払いいただきますと領収書を発行いたします。
- ・お支払い方法は、現金、銀行振込、金融機関口座自動引き落としの3方法があります。入所日までにお選びください。

令和7年4月1日改定